

令和2年度 第2回
学校関係者評価委員会 信頼される鹿商のための委員会

1 日 時

令和2年11月5日（木） 9：45～11:45

2 場 所

管理・教室棟2階 資料室

3 出席者

学校関係者評価委員（6名）

私立大学講師，元幼稚園園長，前町内会長（下宿主），公立中学校長，同窓会副会長，PTA副会長
校内委員（10名）

校長，教頭2名，事務長，教務主任，生徒指導係（代理），進路指導主任，保健主任，商業科主任，
教務部副主任（記録係）

4 会 順

(1) 学校長挨拶

(2) 授業参観

(3) 学校の概況説明

ア 教務部

イ 生徒指導部

ウ 進路指導部

エ 保健部

オ 商業科

カ 学校評価自己評価（中間評価）

5 質疑応答，提言録

- ・ TTで授業を行っており指導体制は充実していると感じている。勉強が苦手でも来てくれる宣伝を展開するべきではないか。また，鹿商坂の木を伐採し整備して，開放感を持たせるべきである。
→ 広報活動として，パンフレットやホームページの更新を頻繁に行い，生徒へ本校の取組の周知を図っている。なお，鹿商坂は市のものではないので，木の伐採や道路の拡張は難しい。
- ・ 体験入学のアンケートの結果について，今後の方策を検討したか。また本校の取組を知ってもらうために，保護者向けの体験入学を実施したらどうか。
→ 相互授業参観等を通して授業改善をし，分かりやすい授業を行っていることが体験入学者の高評価につながったのではないか。また，親向けの体験入学は今後検討したい。
- ・ あいさつする生徒が少ない気がした。生徒指導部ではどのような指導を行っているのか。
→ 部活動単位であいさつは指導しているが，部活動の入部率が低く，あいさつ指導が徹底されていない。コロナ禍で全校生徒が集まる場が設定できず，全体指導もできていない。

- 生徒の就職希望先を把握しているのか。進学先については、同窓会と連携して支援していきたいと考えている。
 - 昨年度は4割が製造業に就職したが、実際は製造業からいただく求人は少ない。毎年同じ企業から求人をいただけるわけではないので、資格等を活かした就職活動を行っていく必要がある。進学については、一般試験での受験はなかなかおらず、部活動の実績や資格取得を生かして進学している。進学先については、ガイダンス等で幅広く進学できるよう指導していきたい。
- 昨年度に比べ体験入学は30名ほど少ない。なぜ商業に行かないのか、希望しないのかを突き詰めて考えることが必要である。横の連携を生かして考えてほしい。
 - 本校に魅力を感じていない中学生が多いのではないかと感じている。内部努力を積み重ねて中学校に魅力を伝えていきたい。
- 商業教育に対する評価が低くなっていると感じている。在校生も商業高校に来て成果が上がっていることを実感できるようにしてほしい。
- 体育祭は午前開催だったが、みんな真面目に取り組んでいたのが好感が持てた。
- 類型Ⅰの生徒は、全員が勉強する雰囲気が整っており日商簿記にも挑戦、結果も出ていると感じている。また、それが、公務員試験の好結果につながっていると思う。
- 陸橋を活用して本校の宣伝をする等、町内会とも連携した取り組みができないか。本校のことを保護者や地域の方々に見ていただく機会を増やすべきである。